

【競技上の確認事項】

大会競技委員長

1 競技規則

本大会は、2022年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。但し、別に定める「小学生バレーボール競技規則」を用いる。

2 競技方法

- ① 九州各県代表男女各24チームを8パートに分け、各パート3チームによる予選リーグ戦を行った後、各パート1位・2位・3位を決定し、それぞれのグループトーナメント戦を行う。
- ② 競技日程及び試合順は、プログラムに記載の通りとする。競技第1日目は予選リーグ戦（各パート3チームによるリーグ戦）、競技2日目は決勝（1位）・2位・3位のグループトーナメント戦を行う。各トーナメント戦の3位決定戦は行わない。
- ③ 予選リーグ戦における順位決定方法は、次の通りとする。
 - (1) 勝率 【勝ち数の多いチーム】
 - (2) セット率 【全試合の取得したセット総数／全試合の喪失したセット総数】
 - (3) ポイント率 【全試合の総得点／全試合の総失点】※勝率が同率の場合は、直接対決の結果を優先する。
 - (4) 3チームが同率の場合は、主将による抽選で順位を決定する。
- ④ 試合は、予選リーグ戦、グループトーナメント戦ともに追い込み形式で行う。
- ⑤ 試合が終わったチームは速やかにベンチを空けること。また、次のチームは、コート委員の指示に従い、ベンチに入ること。監督はラインアップシートを記録席に提出すること。
- ⑥ 予選リーグ戦・各トーナメント戦の連続試合の開始は、前試合終了から15分後にプロトコールに入る。
- ⑦ 各トーナメント戦の決勝戦の開始は、準決勝の遅く終わった試合終了時刻から、状況に応じて15分から40分後にプロトコールに入る。（諸事情に応じて早くなることもある。）

3 チームの構成

- ① チームは監督1人、コーチ1人、マネージャー1人、選手12人以内とする。
- ② 監督、コーチ、マネージャーのうち1人は成人であり、(公財)日本小学生バレーボール連盟が共催する「指導者講習会」(2次以上)を受講している。または、日本スポーツ協会公認スポーツコーチ1・コーチ2・コーチ3・コーチ4のいずれかの資格を有する人は、必ず「証明証」を試合前に担当審判員に掲示すること。また、試合時には胸に下げていなければならない。
- ③ 監督、コーチ、マネージャーは2チームを兼任することはできない。

4 服装について

- ① 選手の背番号は、1～99番とするが、競技運営上1～12番が望ましい。
- ② ユニフォームは、番号、チーム名、キャプテンマークがはっきり識別可能なものであること。
(県名については無くてもよい。個人名その他が入っているものは認められない。)
- ③ ソックスは、長さの色が統一されていること。また、ショートソックスはくるぶしが常時かくれるものとする。
- ④ 監督・コーチ・マネージャーの服装は、チームで統一されたものであること。但し、Tシャツ・短パン・キュロットでのベンチ入りは認められない。(児童がマネージャーの場合は、この限りではない。)
※統一された服装とは、原則全て同じものという意味である。審判服での統一は認められない。
- ⑤ 監督・コーチ・マネージャー章は、必ず差胸部に着用すること。着用のない者のベンチ入りは認められない。

5 チームスタッフの変更

- 大会プログラム記載の、チームスタッフ及び選手の変更（背番号の変更・誤字の訂正等を含む）に関しては、エントリー変更用紙に記入し、12月24日（土）監督会議終了後に提出し、承認を得ること。但し、（公財）日本バレーボール協会に登録済みであることを前提とする。変更がない場合でも、チーム名を記入し「無」で提出すること。

6 大会使用球

- ① 公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号球カラーボールとする。
- ② 男子：ミカサボール（V400W-L） 女子：モルテンボール（V4M5000-L）
- ③ 両方とも円周62～64cm、重量200～220g

7 各試合会場におけるコートでの練習

- ① 準備が出来上がってから、アリーナに入ること。
- ② 公式練習については、第1日目・2日目とも第1試合開始前の10分間、当該チームがコートに入って練習できるものとする。
- ③ 試合終了後は、次の試合のチームのみコートで練習ができる。但し、他のコートが試合中の場合は、ボールが隣のコートに行かないように気をつけて練習する。
- ④ アリーナ以外の室内でのアップは禁止する。また、屋外でのアップの場合は、上履き・下履きの区別を必ずすること。
- ⑤ 全ての会場において、所定の場所での靴の履き替えを必ずすること。（応援席・フロア等の区別）

8 ベンチへの持込物

- ① ベンチには、競技に必要な飲料水・タオル・救急用具以外の品物は持ち込まないこと。
- ② 飲料水については、感染防止の観点から、スクイズボトルのみ持ち込みを許可する。ペットボトル・水筒からの直接給水は認めない。
- ③ 荷物は、椅子の上や横に置かず、ベンチ裏に置くこと。

9 横断幕（チームの応援旗）の掲示

- ① 開会式での掲示は一切できない。
- ② 試合会場では、試合当該チームのみが掲出し、試合終了後直ちに撤去すること。
- ③ サイズについて特別に規定はしないが、体育館の規定上掲出できない場合や試合運営に支障のある場合、大きさなどに問題がある場合は、大会本部の指示に従うこと。
- ④ ガムテープ等の粘着テープ等は使用せず、ロープ・養生テープを使用して手摺りに固定すること。
- ⑤ 応援用の「のぼり」を使用するときは、観戦の妨げにならないよう観客席の後方に固定すること。

10 審判の補助員（ラインジャッジ・点示）について

- ① 予選リーグは、三角形の試合のない1チームが行う。
- ② 決勝トーナメントは、熊本県小学生バレーボール連盟で行う。
- ③ 2位・3位トーナメントについては、トーナメントが決定した後に、それぞれのチームにおいて担当をするので、その担当表に従って行うこと。